

研究会 HP の更新作業ならびに会誌電子化 WG の設置について

九州大学 神谷典穂

昨年秋の30周年記念シンポジウムにて、研究会 HP のリニューアルと酵素工学ニュース（以下、会誌）の電子ファイル化ならびにバックナンバーの公開について議論がありました。具体的な作業を進めていくにあたり、幾つかの項目についてお諮りします。

1. HP コンテンツの情報収集について

- 添付の様なエクセルファイルのシートを会員の皆様に配布し、記入・ご返送頂くことにしたいと思います。データの集計作業は、若手の幹事の皆様のご協力を仰ぎたいと思います。
- 次に、集まった情報の集計と HP への掲載様式を含めたアップロードを誰がどのように行うか、という点が問題となります。HP 作成ソフトを購入し、得意な学生がいればアルバイトをしてもらうのが安く上がるように思います。（そんなに暇な学生はいないでしょうか？） 比較的安価に HP 作成を請け負う業者も増えているので、外部委託にしてしまうのも一案かと思えます。この点について、ご意見を頂けると幸いです。
- 最初の大幅改定には労力がかかると思いますが、以降は年に1、2回程度の簡単なアップデート作業で済むのではないかと考えられます。

2. 会誌の電子化のための WG の設置について

会誌の電子ファイル化ならびにバックナンバーの公開は密接にリンクしています。それぞれについて、色々な項目について詰めて行く必要があります。そこで、WG を設置させて頂き、議論させて頂きたく存じます。下記 WG 案の各先生方にはご了解を得ています。また、ご参画頂ける場合は、神谷までご一報願えますと幸甚です。

会誌電子化 WG（案）

九州大学 神谷典穂（取り纏め）、京都大学 片岡道彦
東京農工大 尾高雅文、産総研（NEDO） 河原林 裕

● 会誌バックナンバーの公開について

- (1) 公開に際しての制限（過去3年分のみ会員限定）
- (2) 公開の方法（J-STAGE*）

*会誌公開に際しての経費と労力（後者について、これまでのバックナンバーの全てについて、電子ジャーナル用のタイトル、著者、所属、抄録、キーワードといった書誌情報を J-STAGE の HP ブラウザ経由で登録する作業が必要。）

- 会誌の電子ファイル化について

- (1) 電子ファイルの配布方法

- ・研究会 HP からダウンロード or 電子メール添付
 - ・ID とパスワードの設定
 - ・印刷物での受け取りを希望される場合

- (2) 現行の会則（付則）の変更の必要性

- 付則 3

- 個人会員および名誉会員は年 2 回の研究会・講演会に無料で参加することができ、ニュースレターの配布を受ける。

- 付則 4

- 団体会員は、会費 1 口につき年 2 回の研究会・講演会に 2 名ずつ無料招待され、ニュースレター 2 部ずつの配布を受ける。

- (3) 電子ファイル化の方法

- 今後のスケジュール（目標）

2009 年 5～7 月	HP 用の情報収集
2009 年 8～9 月	HP 改訂、J-STAGE 情報収集
2009 年 10 月	委員・幹事総会
2009 年 10～3 月	HP 公開、バックナンバー公開準備

HP コンテンツ案

トップページ

- ・トピックス・行事案内
- ・入会案内
- ・会則
- ・役員名簿

以下、トップページからリンクを張る：

ページ# 1

- ・酵素工学俯瞰図 → 関係の官学 HP とのリンク

ページ# 2

- ・酵素の産業利用 → 企業会員様ほか関係の産 HP へのリンク

ページ# 3

- ・講演会情報 → 最新情報とこれまでの講演会情報

ページ# 4

- ・酵素工学ニュース（酵素工学研究会誌）情報 → 最新号情報
会誌バックナンバー → 外部サーバ（J-STAGE？）にリンク

ページ# 5

- ・有用サイト情報 → 国内外の酵素メーカーのリスト・関連学会の HP 等

Japanese/English
Contents
入会案内
会則
役員名簿
酵素工学俯瞰図
酵素の産業利用
講演会情報
酵素工学ニュース (酵素工学研究会誌)
有用サイト情報

酵素工学研究会

Japanese Society of Enzyme Engineering

本研究会は、有用酵素の工業的生産とその分離・精製、酵素や微生物菌体などの生体触媒の使用目的に適合した固定化などの加工と適当な反応器の設計などを基礎・応用の両面から研究し、この分野の進歩に貢献することを目的として昭和54年に設立され今日に至っております。この間、新しい科学技術を取り入れつつ生化学、微生物学、発酵学、化学工学、高分子化学、合成化学、分析化学、医学、薬学など多様な学問領域に属する研究者、技術者の緊密な協力によって順調に成長してまいりました。会員諸氏の活動は国際的にも高く評価されております。本研究会では毎年春と秋に講演会を開催し、ほぼ同時期にニュースレターを発行しております。

トピックス・行事案内



606-8502 京都市左京区北白川追分町京都大学大学院
農学研究科応用生命科学専攻発酵生理学研究室内
酵素工学研究会事務局 TEL/FAX : 075-753-6462

